

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 28-004
 担当 蟹江
 内線等 23-7341

PDCA	事務事業名	美術展開催事業	部課等名	教育部 生涯学習課 生涯学習担当			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (2) 文化の振興 個別施策： ①文化事業の充実					
	根拠法令等	文化芸術基本法					
	対象・目的	一般公募による美術展を開催し、多くの方に来場してもらうとともに出品点数の増加に努め、市民の芸術文化に関する意識の高揚と技術の向上を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・年4回美術展運営委員会を開催。 ・出品者の市内外を問わず作品を公募し、3日間、雁宿ホールで美術展を開催する。 ・市報、HP等でPRする。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①美術展来場者数	1,666	1,811	1,547	人	
		事業費	1,889	1,912	1,856	千円	
		人件費	3,299	3,008	2,484	千円	
		総事業費	5,188	4,920	4,340	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①出品一点あたりのコスト	16	18	15	千円/品		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①美術展来場者数	実績値	1,666	1,811	1,547	人
			目標値	2,100	2,100	2,100	
②美術展出品点数		実績値	329	284	283	点	
		目標値	330	330	330		
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	C 例年出品者層の老年化が課題であり、今年も新人賞の枠を設けることで若者の参加を促した。会期中に実施した芸術体験講座では定員以上の集客ができ、一部であるが来客者に鑑賞だけでなく体験要素の提供をすることができた。しかし、依然として来場者数や出品数は停滞している為、それらの増加が今後も課題である。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 各部門の実施する講座や、芸術体験講座、また演奏会など併催イベントを実施していくことで他分野の客層を取りこんでいきたい。またこれまで70年以上守られてきた伝統を守りつつ、新たな担い手に繋いでいく為若者層へアプローチし、中身を変容させながら事業を継続していきたい。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①美術展来場者数	1,800	人			
		②美術展出品点数	330	点			